

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 06 みんなで築くまち  
 施策 03 広聴と情報発信の充実  
 主管課： 秘書課  
 関係課： デジタル戦略課、総務課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民、市外の方	意図（どのような状態にしたいのか） 市民等が行政運営を理解し、市政への関心が深まるまちをつくる。多くの市民が、行政情報は適切に共有されていると感じることができ るまちをつくる。
-----------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

守谷市を「終（つい）の住みか」としたいと感じる市民の割合 (%) 秘書課						
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	59.50	62.20	59.90	65.30	65.30	90.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と同ポイントで増減なし、成果は横ばいです。目標値との比較では差がある状態となっており、中とします。				
対前年度	横ばい	(原因) アンケート結果からは、出生地や在住期間に関係なく「どちらともいえない」という回答が2割程度あり、特に10～30代に多いことが分かります。「守谷市に住みたくない」という方は全体的に少ない一方、永住意識につながる市の魅力が、若い世代にうまく伝わっていないことが、目標達成率の向上につながらない要因と考えられます。				
目標達成度	中	※H28から把握開始した指標値のため、基準値 (H26実績) は数値なし				
次年度課題	課題とする					

市民と行政との間で、市政情報が適切に共有されていると感じる市民の割合 (%) 秘書課						
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
74.30	69.80	73.20	71.60	76.90	79.20	80.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度から2.3ポイント増加し、成果は向上です。目標値に対しては誤差の範囲で達成とします。				
対前年度	向上	(原因) アンケート結果からは、在住期間が長くなる程「市政情報が共有されていない」とする方が多くなる傾向にあります。情報媒体は、1位が広報紙で約8割以上の方で閲覧があり、在住期間と年齢に比例して読む方が多くなります。次に回覧板は約3割、HPは約3割、総合支援アプリMorinfoは約2割となります。全体的に広報紙が圧倒的に閲覧され、HPやMorinfoの媒体が閲覧数を伸ばしているため、全体的に指標が伸びた要因となります。				
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度 決算	R02年度 決算	R03年度 決算	R04年度 予算	R05年度 見込
事業費合計	36,191	27,496	109,978	142,535	161,608
人件費	33,714	45,969	39,691	0	0
トータルコスト	69,905	73,465	149,669	142,535	161,608

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 シティプロモーションの推進	低下	向上				35,961	27,224	24,648	30,059	54,100
02 広聴・情報公開の充実	向上	向上				230	272	79,464	107,644	107,508
99 施策の総合推進						0	0	5,866	4,832	0

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>広報紙では、特集記事を企画することで市民に伝えたい情報を分かりやすく提供することができています。広聴では、「私の提案」のあり方とホームページ上の「お問い合わせ」フォームとの使い分けなどが課題となっています。</p> <p>広報紙の発行回数が月1回に減らすことで、企画編集の時間が多く執れので紙面が充実され、コストの削減が期待できることから、令和5年4月から月1回に変更するよう進めます。また、私の提案制度等の広聴においては、事務効率の向上と市民に分かりやすい広聴制度であるよう制度の再構築を検討します。</p>	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>市民に必要な情報を確実に届けられるよう、情報発信媒体の長短や想定対象者層を分析し、戦略的な情報発信を検討していきます。</p> <p>広聴については、投書箱やHPからの「私の提案」制度を活用した意見聴取などを継続するとともに、まちづくり協議会会議に市職員が出向き、直接意見を伺う場を設定したり、各課の業務負担が増えないような広聴手段のあり方を検討していきます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

<p>市民に必要な情報を確実に届ける事はもとより、10代～30代層に終の住みかかと思えるよう、特に若い層向けに情報発信や市のイメージ戦略に取り組みを検討します。</p> <p>広聴については、投書箱やHPからの「私の提案」制度やまちづくり協議会から直接意見を聴取する場として継続するとともに、広聴手段の方法やあり方等を検討していきます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持